

(公財)地域社会振興財団

令和7年度中央研修会を開催いたしました

令和7年5月から11月にかけて、自治医科大学の構内にある地域医療情報研修センターにおいて中央研修会を開催いたしました。全14回にわたって多職種の医療従事者向けに行われたもので、全国各地の医療従事者(保健師、看護師、薬剤師、臨床検査技師等)396名の参加があり、受講生は真剣に講義に耳を傾け、積極的にグループワークに参加しました。

研修会初日に開催された情報交換会では、講師への活発な質問や、全国から参加した受講者同士で親睦を深めながら情報交換が行われ、満足度の高い研修会となりました。

なお、令和8年度中央研修会は、令和8年4月1日に募集を開始する予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



講義（診療放射線技師）



グループディスカッション（薬剤師）



情報交換会（健康企画・評価）



講義（保健活動）



症例検討（栄養管理）



グループワーク（口腔ケア）



講義（リハビリ）



グループディスカッション（災害薬事）



講義（スタッフ育成）

※カッコ内は研修会名

受講者の感想（アンケートより抜粋）

第3回看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会

- ・看護補助者の重要性を再認識できた。協働できるように、看護補助者の教育、現状把握していきたい。
- ・課題も明らかとなったため、部署で検討していきたい。
- ・活用推進の重要さが学べ、実践に活かせる講義やグループワークだった。

第43回診療放射線技師研修会

- ・講義自体も分かりやすくなり、明日からすぐ活かせる内容ばかりで大変良かった。
- ・他施設の技師さんともたくさん交流でき、大変満足のいく研修会だった。後輩たちにも勧めたい。
- ・とても有意義な会だった。情報交換会のお陰で、他の参加者さんともコミュニケーションが取れて良かった。是非後輩にお勧めしたい。

第43回薬剤師研修会

- ・グループディスカッションでは、病院薬剤師業務で課題になってくる点が他施設とも共通していることを知ることが出来た。他施設で行っている業務内容を参考に自施設での業務改善にも取り組みたい。
- ・グループディスカッションは、さまざまな規模の病院でグループ分けを行っていただくことで、施設の規模ごとの状況や現在の自施設との相違点を知ることができた。
- ・自施設以外での運用や取り組みについて学ぶことができ、視野が広がった。参加されている先生方ともディスカッションや情報交換会でいろいろな話ができ、大変有意義な時間を過ごすことができた。周りの同僚にもぜひ勧めたい。

第10回栄養管理研修会

- ・実技では普段なかなか見られないもの、触らないものを実際に見て触ることができて大変良かった。
- ・沢山の知見をお聞きすることができ、とても貴重な機会、有意義な時間を持つことができた。
- ・グループワークや情報交換会で、他施設での栄養指導やNSTで大切にしていることや様々な考え方を知ることが出来、今後患者さんと接する際に活かしていくことを学ぶことができた。

第50回臨床検査技師研修会

- ・疾患特異的自己抗体と自己免疫疾患について、専門の先生方からの最新の講義を聞くことができ、大変勉強になった。先輩に勧められて参加して良かった。
- ・全体的にとっても良かった。
- ・とても有意義な研修だった。

第23回健康企画・評価研修会

- ・知識として理解していた Well-being の理解が深まった。これからは、身に着くようにトレーニングします。
- ・対人支援や集団支援で使ってみたいと思った。身になる研修、ありがとうございました。
- ・グループワークが多く、他の参加者とたくさん情報交換等ができ、充実した時間を過ごせた。

第44回保健活動研修会

- ・3日間で終わってしまうのが悲しくなるくらい学びのある研修だった。周りの受講生も意識が高く、勉強になることばかりだった。どの先生方の説明もとても分かりやすく、難しい内容のはずなのに、面白く説明いただき、時間を忘れてしまうくらい素晴らしい講義だった。
- ・3日間の講義や演習を通して研究や論文執筆、学会発表の一連を学ぶことができた。しっかり復習して、今後活かしていきたい。
- ・統計については初心者だったが、先生方の楽しく分かりやすい説明のおかげで統計の素晴らしさが分かった。今後、今回の経験を活かして世の中に貢献できるよう、精進していきたい。

第3回看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会

- ・たくさんのわかりやすい講義をありがとうございました。施設に持ち帰り、活動の気持ちが高まった。課題が分かった。
- ・楽しくとても勉強になった。グループワークでは課題について考え、アドバイスいただけ、今後のアクションが見えた。

第43回健康学習研修会

- ・大変有意義な研修だった。また機会があれば受けたい。職場の人にも受けてもらいたい、共有したいと思った。
- ・講義では、医療従事者は保健指導をする際に病気に目が向きがちと言われ、自分の日頃の保健指導を振り返ると確かにそういった傾向にあったと気付かされた。まずは対象者の目標や価値観を引きだして、自発的に健康づくりに取り組めるような保健指導を行っていきたい。
- ・グループワークでは、他の市区村の保健師、ケースワーカーなどと話ができ、とても刺激的だった。今回の研修に参加したことで、それぞれの市町村の業務への取り組み状況を知ることができたり、業務における悩みを共有でき、悩んでいるのは自分だけではないのだと気付け、少し心が軽くなった。

第21回口腔ケア研修会

- ・とても勉強になった。口腔外科以外の先生方のお話もとてもわかりやすかった。自治医大の口腔ケアのやり方を参考にさせていただきたい。
- ・癌と口腔についての知識が増え、大変勉強になった。自分の病院でも、研修会の知識を活かしていきたい。
- ・多職種の方との交流ができて勉強になった。

第5回災害保健研修会

- ・災害後の中長期の支援を学ぶことができ、大変有意義だった。
- ・平時からの精神保健活動、地区活動を丁寧に行うことの大切さを改めて感じた。

第25回リハビリテーション研修会

- ・大変学びになる講義であり、今後どのような視点から臨床に取り組むべきか考えることが出来た。
- ・看護で益々リハビリテーションが重要視されてきた中で、この研修会に参加でき、明日からの臨床に活かしていきたいと思った。高橋先生の講義は分かりやすく、実践できることも多く、また講義を聞きたいと思った。
- ・もっと早く知りたかった、という内容ばかりだった。ありがとうございました。

第48回スタッフ育成・管理担当者研修会

- ・ティーチングとコーチングを分かりやすく教えていただいた。これからのスタッフ育成に活用していきたい。
- ・ティーチングとコーチングの違いや、アドバイスする時もお互いの意見を尊重して話し合うことが大切だと知ることが出来た。
- ・後輩スタッフとの関りについて悩んでいたので解決策がみつき、良かった。今後に活かそう。

第1回災害薬事研修会

- ・講師の先生、病院、薬局の先生方の意見を聞くことができ、とても勉強になった。
- ・それぞれの専門の立場から解説していただき、ありがとうございました。
- ・大変勉強になった。講師の先生方がフレンドリーなため質問しやすかった。

令和7年度 中央研修会開催報告

	研修会名	研修期間	受講者数
1	第3回看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	5 月 21 日 (水)	30
2	第43回 診療放射線技師研修会	6 月 5 日 (木) ～ 6 月 7 日 (土)	41
3	第43回 薬剤師研修会	6 月 12 日 (木) ～ 6 月 13 日 (金)	66
4	第10回 栄養管理研修会	6 月 20 日 (金) ～ 6 月 21 日 (土)	43
5	第50回 臨床検査技師研修会	6 月 26 日 (木) ～ 6 月 27 日 (金)	45
6	第23回 健康企画・評価研修会	7 月 31 日 (木) ～ 8 月 1 日 (金)	16
7	第44回 保健活動研修会	8 月 8 日 (金) ～ 8 月 10 日 (日)	8
8	第3回看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会	8 月 29 日 (金)	4
9	第43回 健康学習研修会	9 月 4 日 (木) ～ 9 月 5 日 (金)	16
10	第21回 口腔ケア研修会	10 月 3 日 (金) ～ 10 月 4 日 (土)	36
11	第5回災害保健研修会	10 月 18 日 (土) ～ 10 月 19 日 (日)	11
12	第25回 リハビリテーション研修会	10 月 30 日 (木) ～ 10 月 31 日 (金)	24
13	第48回 スタッフ育成・管理担当者研修会	11 月 7 日 (金) ～ 11 月 8 日 (土)	43
14	第1回災害薬事研修会	11 月 14 日 (金)	13
計			396

第3回看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会日程表

テーマ：看護管理者が看護補助者の活用推進のために必要な知識や考え方を理解し、安全で効率的な業務実施体制整備に活用することができる

- ねらい：1) 看護補助者との協働において看護職と看護補助者の役割と責任が理解できる
2) 効果的・効率的な看護を提供するための業務実施体制の整備の方策が理解できる
3) 看護補助者の確保の方策と労働環境整備の方策が理解できる
4) 看護職及び看護補助者の教育体制の整備の方策が理解できる

5月21日（水）	
<p>9:00 受付</p> <p>9:30 開講式・オリエンテーション</p> <p>9:45 講義（DVD）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 看護補助者の活用推進の背景 2 看護補助者の位置づけ 3 看護補助者との協働に関する基本的な考え方 4 業務実施体制の整備（小ワーク） <p>公益社団法人栃木県看護協会教育研修課 専任教員・看護職 酒巻 佐和子 他1名</p> <p>休憩（適宜）</p> <p>講義（DVD）</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 看護職への教育体制の整備 6 看護補助者の労働環境の整備及び確保等（小ワーク） 7 看護補助者の育成・研修・評価（小ワーク） <p>公益社団法人栃木県看護協会教育研修課 専任教員・看護職 酒巻 佐和子 他1名</p> <p>13:05 昼食</p> <p>14:05</p>	<p>14:05</p> <p>8 看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成（グループワークと全体共有）</p> <p>休憩（適宜）</p> <p>公益社団法人栃木県看護協会教育研修課 専任教員・看護職 酒巻 佐和子 他1名</p> <p>17:00 閉講式</p> <p>17:15</p> <p>注）カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので、予めご了承ください。</p>

第 43 回 診療放射線技師研修会日程表

テーマ：放射線検査技術と読影の補助

ねらい：医療の中での放射線技師の重要性を自覚し、これからの仕事に対応できる基本的知識の習得を目的とする。

6 月 5 日(木)	6 月 6 日(金)	6 月 7 日(土)
<p>9:00 受付</p> <p>9:30 開講式・オリエンテーション</p> <p>9:50 脊椎脊髄 MRI 検査の要点</p> <p>自治医科大学医学部放射線医学 教授 森 壘</p> <p>11:00 休憩</p> <p>11:10 中枢神経・頭頸部放射線検査の要点</p> <p>自治医科大学医学部放射線医学 講師 藤井 裕之</p> <p>12:20 昼 食</p> <p>13:20 アンガーマネジメント ～怒りと上手に付き合う自分になろう～</p> <p>ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社 常務取締役 山本 果奈</p> <p>14:30 休憩</p> <p>14:40 小児放射線検査の要点</p> <p>自治医科大学附属病院 とちぎ子ども医療センター小児画像診断部 講師 古川 理恵子</p> <p>15:50 休憩</p> <p>16:00 IVRの要点 ～放射線科医の立場から～</p> <p>自治医科大学医学部放射線医学 教授 濱本 耕平</p> <p>17:10 休憩</p> <p>17:20 情 報 交 換 会</p> <p>18:40</p>	<p>9:00 胸部放射線検査の要点</p> <p>自治医科大学医学部放射線医学 非常勤講師 篠崎 健史</p> <p>10:20 休憩</p> <p>10:30 腹部放射線検査の要点</p> <p>福島県立医科大学会津医療センター 放射線医学講座 教授 歌野 健一</p> <p>11:50 昼 食</p> <p>12:30 バスにて移動</p> <p>放射線機器の製造について (キャノン那須工場見学)</p> <p>キャノンメディカルシステムズ 那須工場</p> <p>15:30 (送迎バスに移動) JR 宇都宮駅および 地域医療情報研修センター解散</p>	<p>9:00 放射線業務における医療安全</p> <p>泉大津急性期メディカルセンター クオリティ管理センター長 長谷川 剛</p> <p>10:20 休憩</p> <p>10:30 AI を用いた読影支援について</p> <p>富士フイルムメディカル株式会社 北関東支社 IT ソリューションセンター チーフ 佐々木 貴浩</p> <p>11:50 閉講式</p> <p>12:05</p> <p>注)カリキュラム及び講師の一部が変更になる ことがありますので、予めご了承ください。</p>

第 43 回 薬剤師研修会日程表

テーマ：病院薬剤師のチーム医療への貢献～病院薬剤師の実際の活動と関わり～

6 月 12 日 (木)		6 月 13 日 (金)	
8:30	受 付	8:30	医療安全における薬剤師の役割 自治医科大学附属病院薬剤部 副薬剤部長 片野 昌宏
9:00	開講式・オリエンテーション	9:10	休 憩
9:10	身体所見・検査所見を薬物療法に活かす 自治医科大学附属病院薬剤部・ 薬理学講座臨床薬理学部門 薬剤部長・教授 今井 靖	9:20	腎臓病薬物療法認定薬剤師の実際 自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 主任薬剤師 木村 正彦
10:10	休 憩	10:00	休 憩
10:20	病院薬剤師業務について(自治医科大学附属病院では) 自治医科大学附属病院薬剤部 副薬剤部長 中澤 寛仁	10:10	医薬品情報における薬剤師の役割 (DI, システム, フォーマリラー等) 自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 副薬剤部長 村岡 篤
10:50	休 憩	10:50	休 憩
11:00	栄養管理と NST 活動 自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 遠藤 径世	11:00	臨床研究における薬剤師の関わり(CRC の実際) 自治医科大学附属病院臨床研究センター 臨床研究・治験推進部 副部長 若松 朋恵
11:30	休 憩	11:40	ワーキング・ランチ
11:40	感染管理における薬剤師の役割 (抗菌薬の使い方～AST の実際～) 自治医科大学附属病院薬剤部・感染制御部 主任薬剤師 大友 慎也	12:40	グループディスカッション 自治医科大学附属病院薬剤部 副薬剤部長 中澤 寛仁 釜井 聡子 吉岡 崇幸 片野 昌宏 主任薬剤師 若林 宏海 荒川 祐輔 稲見 薫
12:20	昼 食		自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 副薬剤部長 村岡 篤 主任薬剤師 木村 正彦
13:20	外来がん化学療法における薬剤師外来の実践 自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 奥田 泰考	17:00	閉講式
14:00	休 憩	17:15	
14:10	緩和ケアにおける薬剤師の関わり 自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 稲見 薫		
14:50	休 憩		
15:00	周術期における薬剤師の関わり 自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 薬剤師 小林 睦之		
15:40	休 憩		
15:50	災害医療における薬剤師の関わり 自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 主任薬剤師 立石 直人		
16:30	休 憩		
16:40	糖尿病における薬剤師の関わり 自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 薬剤部長 大塚 潔		
17:20	情報交換会		
18:40			

注) カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので、予めご了承ください。

第 10 回 栄養管理研修会 日程表

テーマ: チーム医療における栄養管理のスキルアップを目指して

ねらい: 健康寿命の延伸と脳卒中・心臓病その他の循環器病の年齢調整死亡率の減少に向けて、栄養管理に携わる私たちに寄せられる期待は大きい。脳卒中・循環器病疾患における医療の最前線と医療における栄養管理の最前線を学ぶ場とする。

6 月 20 日 (金)	6 月 21 日 (土)
8:45 _____ 受 付	9:00 _____ 糖尿病患者の症例検討
9:15 _____ 開講式・オリエンテーション	自治医科大学医学部 内科学講座 内分泌代謝学部門 准教授 岡崎 啓明
9:30 _____ 高血圧治療の最前線	自治医科大学附属病院 看護部 糖尿病看護認定看護師 新井 茉美
自治医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門 教授 荻尾 七臣	自治医科大学附属病院 臨床栄養部 日本糖尿病療養指導士 木造 佳那子
11:30 _____ 昼 食	12:00 _____ 昼 食
12:30 _____ 脳卒中治療の最前線	13:00 _____ NST 患者の症例検討
自治医科大学医学部 内科学講座 神経内科学部門 教授 藤本 茂	自治医科大学医学部 外科学講座 消化器一般移植外科部門 准教授 倉科 憲太郎
14:20 _____ 休 憩	自治医科大学附属病院 看護部 NST 専門療法士 宮沢 玲子
14:30 _____ 医療における栄養管理の最前線	自治医科大学附属病院 看護部 看護師長 星野 えみ
東京医科大学病院 栄養管理科 科長 宮澤 靖	自治医科大学附属病院 薬剤部 薬剤師 村林 美優
16:30 _____ 休 憩	自治医科大学附属病院 臨床栄養部 NST 専門療法士 木造 佳那子
16:40 _____ 情報交換会	16:00 _____ 休 憩
18:10 _____	16:10 _____ 閉講式
	16:25 _____

第 50 回 臨床検査技師研修会日程表

疾患特異的自己抗体と自己免疫疾患に迫る

テーマ:疾患特異的自己抗体と自己免疫疾患との関りを学ぶ～最新の臨床から検査方法まで～

6 月 26 日 (木)	6 月 27 日 (金)
8:30 受 付	9:00 疾患特異的自己抗体Ⅳ (産婦人科) 産婦人科から迫る自己免疫疾患 自治医科大学医学部 産婦人科学 准教授 薄井 里英
9:00 開講式・オリエンテーション	10:10 休 憩
9:20 R-CPC 自己免疫疾患に迫る 自治医科大学医学部 臨床検査医学 助教 山本 さやか	10:20 疾患特異的自己抗体Ⅴ (リウマチ・膠原病科) リウマチ膠原病科から迫る自己免疫疾患 「抗体陽性＝病気か？」 自治医科大学附属さいたま医療センター リウマチ膠原病科 教授 長嶋 孝夫
10:20 休 憩	11:30 昼 食
10:30 疾患特異的自己抗体Ⅰ 血液内科領域の自己免疫疾患 自治医科大学医学部内科学 血液学部門 助教 皆方 大佑	12:30 自己抗体検査の最前線 自己免疫疾患と自己抗体検査ー基礎から最新の話題ー 株式会社 医学生物学研究所 学術部員 木溪 俊介
11:40 昼 食	13:40 閉 講 式
12:40 疾患特異的自己抗体Ⅱ (肝臓・消化器内科) 自己免疫性肝疾患ー最近の話題ー 自治医科大学附属病院 消化器センター (内科部門) 教授 三浦 光一	13:55
13:50 休 憩	
14:00 疾患特異的自己抗体Ⅲ (内分泌代謝科) 甲状腺機能検査とハーモナイゼーション 獨協医科大学 臨床検査医学講座 教授 小飼 貴彦	注) カリキュラム及び講師の一部が変更になることが ありますので、予めご了承ください。
15:10 休 憩	
15:20 疾患非特異的酵素結合性免疫グロブリンの 結合メカニズム 自己抗体ではない抗原抗体結合メカニズムに迫る 群馬パース大学 学長 藤田 清貴	
16:30 情報交換会	
17:50	

第23回健康企画・評価研修会日程表

住民の心身トータルの健康を目指した事業の企画法

テーマ：住民が元気になる健康事業企画と評価

7月31日（木）	8月1日（金）
<p>9:00 受付</p> <p>9:30 開講式 オリエンテーション</p> <p>10:00 健康事業企画の基本的考え方 ～まちづくりを目指した保健事業の企画法～ 日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 参加したくなる心の元気教室の企画法 ～参加型、楽しい、元気になる、 そして結果に繋がる教室運営法～ 日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一</p> <p>15:00 休憩</p> <p>15:15 well-being 生活に向けた健康評価法 ～アップしよう！自分の評価力～ 独立行政法人 国立病院機構栃木医療センター 医師 村上 恵理</p> <p>17:15 情報交換会</p> <p>18:35</p>	<p>9:00 具体的事例検討会① ～事業計画→実施→評価のすべて～ ひとづくり、つながりをベースに健康づくり 新潟労働衛生コンサルタント事務所 保健師 鈴木 美和</p> <p>10:45 休憩</p> <p>10:50 具体的事例検討会② ～これからの健康についてのあり方・考え方～ 病気探しと健康探し 新しい視点からの健康づくり 上野医院 医師 上野 学</p> <p>12:30 昼食</p> <p>13:30 具体的事例検討会③ 今の時代にあった企画 ～心惹かれるコンテンツを考える～ 社会医療法人 中山会宇都宮記念病院 総合健診センター 健診医療連携部・保健事業部 保健師 部長 千葉 暢子</p> <p>15:10 休憩</p> <p>15:20 具体的事例検討会④ ～元気づくり企画～ 住民、スタッフのやる気を育てる 保健師 宮崎 由紀子</p> <p>17:00 閉講式</p> <p>17:15</p> <p>注）カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので、予めご了承ください。</p>

第44回 保健活動研修会日程表

保健活動に活かす疫学・統計セミナー（調査研究の立案・学会発表・論文執筆まで）

8月8日(金)	8月9日(土)	8月10日(日)
<p>12:45 —————</p> <p>受 付</p> <p>13:15 —————</p> <p>開講式 オリエンテーション</p> <p>13:30 —————</p> <p>調査研究および疫学の基礎 ～調査研究の基本知識と 疫学の基礎を概観する～</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介</p> <p>14:40 —————</p> <p>休 憩</p> <p>14:55 —————</p> <p>調査・研究の実際（1） ～社会調査の実際を中心に～</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 准教授 青山 泰子</p> <p>16:05 —————</p> <p>休 憩</p> <p>16:20 —————</p> <p>統計学の基礎 ～保健活動・調査研究のための データのまとめ方（基礎）～</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 助教 小佐見 光樹</p> <p>17:30 —————</p> <p>振り返り・情報交換会</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 桑原 政成 准教授 青山 泰子 助教 小佐見 光樹</p> <p>18:50 —————</p>	<p>9:30 —————</p> <p>調査・研究の実際（2） ～バイアスや交絡の制御を含む 疫学の知識を学ぶ～</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 助教 小佐見 光樹</p> <p>10:40 —————</p> <p>休 憩・移 動</p> <p>11:00 —————</p> <p>情報収集・文献検索の実際（演習） ～コンピュータを用いた演習～</p> <p>宮城大学看護学群 教授 江角 伸吾</p> <p>12:20 —————</p> <p>昼 食</p> <p>13:20 —————</p> <p>グループワーク ～与えられた課題について、 各グループで具体的な研究計画 にチャレンジする～</p> <p>埼玉県立大学保健医療福祉学部 共通教育科（内科学） 教授 竹島 太郎</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 桑原 政成 准教授 青山 泰子 助教 小佐見 光樹</p> <p>16:00 —————</p> <p>休 憩</p> <p>16:15 —————</p> <p>グループワーク報告会 （振り返り含む）</p> <p>埼玉県立大学保健医療福祉学部 共通教育科（内科学） 教授 竹島 太郎</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 桑原 政成 准教授 青山 泰子 助教 小佐見 光樹</p> <p>17:15 —————</p>	<p>9:00 —————</p> <p>研究と倫理 ～最近の話題を交えて調査研究 と倫理について概観する～</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介</p> <p>10:10 —————</p> <p>休 憩・移 動</p> <p>10:30 —————</p> <p>エクセルによる統計解析の実際（演習） ～コンピュータを用いた演習～</p> <p>パソコンじゅく自治医大駅前教室 チューター 原 久子</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 桑原 政成 准教授 青山 泰子 助教 小佐見 光樹</p> <p>12:00 —————</p> <p>昼 食</p> <p>13:00 —————</p> <p>学会発表と論文作成 ～学会発表・論文執筆の基礎を学ぶ～</p> <p>自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 准教授 桑原 政成</p> <p>14:10 —————</p> <p>閉講式</p> <p>14:25 —————</p> <p>注)カリキュラム及び講師の一部が変更 になることがありますので、予めご了承 ください。</p>

第3回 看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会日程表

特定行為の実践に必要な臨床推論を復習し、組織で活躍できる看護実践者になろう！

テーマ:最善な特定行為実践のための基礎知識と看護実践力の向上

ねらい:2015 年度から開始した看護師の特定行為に係る研修制度の研修修了看護師は 11,411 人(2024 年 9 月)、研修を展開している指定研修機関は、428 施設(2024 年 8 月)となった。

各指定研修機関では「チーム医療」、「医療安全」、「高度な臨床実践能力」、「自己研鑽」などの研修制度の理念を踏まえ、それぞれに目的・目標を設定し研修を行っているが、研修修了時の到達度が統一されていないという指摘がある。

さらには、研修修了後の知識や看護技術を更新していく機会には個人差があり、修了後のフォローアップやスキルアップにおける課題が多く報告されている。

そこで、最善な特定行為実践のために必要な基礎知識として臨床推論や症候学を復習し、「good practice」を共有することで看護実践力の向上を目指す機会としたい。

8 月 29 日(金)	
8:30	受付
9:00	開講式・オリエンテーション
9:15	糖尿病患者の輸液調整
	自治医科大学看護学部 看護基礎科学 教授 倉科 智行
10:35	休憩
10:40	臨床推論の復習
	自治医科大学医学部情報センター 教授 石川 鎮清
12:00	休憩
13:00	輸液栄養療法の適正使用に関する情報
	株式会社大塚製薬工場 信頼保証本部 輸液情報センター 製品情報室 係長 名護 由華 中野 将春
14:30	休憩
14:40	グループワークオリエンテーション
	自治医科大学看護学部 看護師特定行為研修センター 教授 村上 礼子
14:50	
14:50	安全な輸液調整等の特定行為実践に向けた検討
	自治医科大学医学部情報センター 教授 石川 鎮清
	自治医科大学看護学部 看護師特定行為研修センター 教授 村上 礼子 講師 佐々木 彩加 助教 村松 真吾
16:40	休憩
16:50	特定行為研修制度の動向
	自治医科大学看護学部 看護師特定行為研修センター 教授 村上 礼子
17:20	閉講式
17:35	情報交換会
18:55	
注)カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので、予めご了承ください。	

第 43 回健康学習研修会日程表

行動変容、意識変容の基本となるコミュニケーション技法の習得

テーマ：健康教育から健康学習へ

ねらい：保健医療従事者がコミュニケーション力をつけることが、住民の継続的行動変容につながります。
「伝える」コミュニケーション法から「伝わる」コミュニケーション法に変えると住民は主体的に学びたくなる。そのコミュニケーションの基本をしっかりと身につけられる研修会です。

9 月 4 日 (木)	9 月 5 日 (金)
<p>9:00 受付</p> <p>9:30 開講式 オリエンテーション</p> <p>10:00 住民が元気になるコミュニケーション技法 ～伝え上手、尋ね上手、返し上手～</p> <p>日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一</p> <p>12:15 昼 食</p> <p>13:15 集団がやる気になるために ～ムードづくり及びシナリオ作成法～</p> <p>日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一</p> <p>15:15 休憩</p> <p>15:30 新しい時代の健康の着眼点とは ～過去・現在・そして未来～</p> <p>新町クリニック 院長 神應 知道</p> <p>17:30 情報交換会</p> <p>18:50</p>	<p>9:00 令和に必要とされる健康セミナー ～常に対象者から学ぶ～</p> <p>(株)健康支援 BonAppetit 管理栄養士 植村 瑠美</p> <p>10:45 休 憩</p> <p>10:50 明日から使える健康学習 ～住民の健康づくりに 大切なこと・必要なこと～</p> <p>(元)新潟県燕市役所 保健師 石田 奈津子</p> <p>12:30 昼 食</p> <p>13:30 総合的視点から見た心身の健康指導 ～住民の力を伸ばす魔法の言葉かけ～</p> <p>ヘルスシード合同会社 医師 杉山 葉子</p> <p>15:10 休 憩</p> <p>15:20 さやかで学ぶ住民の視点に立った保健指導 ～継続的行動変容につながる コミュニケーション～</p> <p>川崎市立多摩病院 救急災害医療センター 副センター長 / 国民健康保険 朽木診療所 (滋賀県) 元所長 野村 悠</p> <p>17:00 閉講式</p> <p>17:15</p> <p>注) カリキュラム及び講師の一部が変更になる ことがありますので、予めご了承ください。</p>

第 21 回 口腔ケア研修会日程表

10 月 3 日 (金)		10 月 4 日 (土)	
8:30	受 付	9:00	放射線治療における口腔ケアの実際 頭頸部、肺がん・食道がん CRT 時の口腔ケア 自治医科大学附属病院 画像診断部・放射線治療部 看護師 森 貴子
9:00	開講式 オリエンテーション	9:30	休 憩
9:15	口腔について ～口腔の解剖と機能、疾患～ 自治医科大学医学部 歯科口腔外科学 教授 野口 忠秀	9:35	乳癌治療と口腔ケア 自治医科大学医学部 外科学 消化器一般移植外科学部門 准教授 原尾 美智子
10:00	休 憩	10:05	休 憩
10:05	口腔ケアの基本 ～評価方法と清掃方法～ 自治医科大学附属病院 歯科口腔外科 主任歯科衛生士 秋元 麻美	10:15	上部消化管がんについて ～治療のトピックスと口腔～ 自治医科大学附属病院 臨床栄養部 部長 倉科 憲太郎
10:50	休 憩	10:45	休 憩
11:00	口腔ケア用品について ～清掃用具や保湿剤・含嗽剤などの紹介～ 自治医科大学医学部 歯科口腔外科学 学内講師 相澤 恵美	10:50	血液科診療と口腔 ～口腔浸潤で見つかる造血器腫瘍と化学療法・造血幹細胞移植時の口腔ケアの重要性について～ 自治医科大学医学部 血液学 講師 山本 千裕
11:30	休 憩	11:20	休 憩
11:35	摂食嚥下について～嚥下機能の正常と異常～ 自治医科大学医学部 歯科口腔外科学 学内講師 相澤 恵美	11:25	皮膚悪性腫瘍とその治療について 自治医科大学医学部 皮膚科学 助教 中野 尚美
12:20	昼 食	11:55	昼 食
13:20	口腔リハビリテーション ～口腔機能と摂食嚥下のリハビリテーション～ 自治医科大学附属病院 歯科口腔外科 歯科衛生士 若林 宣江	12:55	肺がんについて 肺がん治療とそのフェーズにおける口腔ケアのポイント 自治医科大学附属病院 呼吸器内科 病院助教 佐藤 春菜
13:50	休 憩	13:25	休 憩
13:55	口腔がんについて ～口腔がんとケア～ 自治医科大学医学部 歯科口腔外科学 講師 杉浦 康史	13:30	大腸癌と口腔の不思議な関係 ～微生物の果たす重要な役割とは～ 自治医科大学附属病院 消化器センター (外科部門) 病院講師 伊藤 誉
14:25	休 憩	14:00	休 憩
14:30	周術期口腔ケア ～様々ながんに対する治療立案と実際～ 自治医科大学附属病院 歯科口腔外科 臨床助教 山本 亜紀	14:10	(グループワーク) 口腔ケアの実際 1 口唇癌の放射線治療中のケアについて 自治医科大学附属病院 歯科口腔外科 歯科衛生士 山岡 真琴
15:00	休 憩	15:10	休 憩
15:10	頭頸部、胸部腫瘍に対する放射線治療 ～急性期有害事象の観察要点および口腔ケアの重要性～ 自治医科大学附属病院 放射線治療科 病院助教 遠藤 雅士	15:15	(グループワーク) 口腔ケアの実際 2 舌癌の化学放射線療法中のケアについて 自治医科大学附属病院 歯科口腔外科 歯科衛生士 田尻 ななほ
15:55	休 憩	16:15	閉講式
16:00	がん薬物療法について ～副作用としての口腔粘膜炎～ 自治医科大学医学部 外科学 消化器一般移植外科学部門 教授 山口 博紀	16:30	
16:45	移動・情報交換会		
18:10			注) カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので予めご了承ください。

第5回 災害保健研修会日程表

地域保健活動における災害への中長期的メンタルヘルスの対応力を高めよう！

ねらい：自然災害・人為災害・パンデミック等、一度に多数の人々が危機的状況に直面する事象が近年頻発している。災害被災者の支援として、災害発生時にメンタルヘルス不調を感じている人々、及び災害後、中長期的にメンタルヘルス不調を生じる人々への支援があるうつ、アルコール依存、自殺への対策などの災害中長期生じる現象は、生活支援全般の一部として、平時のメンタルヘルス対策と共通した課題として表面化してくることも少なくない。メンタルヘルス不調を抱える人は自から希求行動をとらないことが少なくなく、多方面からの多種多様な情報を判断して対応することが求められる。講義と演習を通して、発災後及び中長期的に保健従事者に求められる被災者へのメンタルヘルスの対応方法及び平常時から行うべき活動を理解する。

10月18日（土）	10月19日（日）
<p>9:45 受付</p> <p>10:15 開講式 オリエンテーション</p> <p>10:30 WHO版 心理的応急処置 (サイコロジカル・ファーストエイド：PFA) 被災者へのケアⅠ 特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター コーディネーター 松尾 沢子 公立大学法人 横浜市立大学 医学研究科看護学専攻 共同研究員・非常勤講師 庄司 弥生 協力：ストレス・災害時こころの情報支援センター</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 WHO版 心理的応急処置 (サイコロジカル・ファーストエイド：PFA) 被災者へのケアⅡと支援者へのケア 特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター コーディネーター 松尾 沢子 公立大学法人 横浜市立大学 医学研究科看護学専攻 共同研究員・非常勤講師 庄司 弥生 協力：ストレス・災害時こころの情報支援センター</p> <p>17:00 情報交換会</p> <p>18:20</p> <p>注) カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので予めご了承ください。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>注) 本研修会を受講される方は、必ず以下の動画を事前にご視聴のうえ研修会にご参加ください。</p> <p>動 画：「災害時の保健活動」 講 師：自治医科大学看護学部 名誉教授 永井 優子</p> <p>※視聴方法については、受講決定通知後に（公財）地域社会振興財団から追ってご連絡いたします。</p> </div> <p>注) カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので、予めご了承ください。</p>	<p>9:00 支援者のメンタルヘルス支援 自治医科大学 看護学部 名誉教授 永井 優子</p> <p>9:30 災害被災者への中長期的な対応（事例） 自治医科大学 看護学部 助教 地神 由加里</p> <p>10:20 休憩</p> <p>10:30 被災者支援の実際 ～中長期的活動を中心に～</p> <p>NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会 相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長 米倉 一磨</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 メンタルヘルス上の課題を持つ人への支援演習 自治医科大学 看護学部 名誉教授 永井 優子 講師 路川 達阿起 助教 地神 由加里 助教 戸田 あい NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会 相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長 米倉 一磨</p> <p>15:30 研修の振り返り 自治医科大学 看護学部 前教授 永井 優子 NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会 相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長 米倉 一磨</p> <p>15:45 閉講式</p> <p>16:00</p>

第25回 リハビリテーション研修会日程表

医療従事者に必要な急性期リハビリテーションの知識と技術

10月30日（木）	10月31日（金）
8:30 受 付	9:00 呼吸器疾患の急性期理学療法 介入のポイント
9:00 開講式 オリエンテーション	福島県立医科大学 保健科学部理学療法学科 特任教授 高橋 仁美
9:15 患者に届く急性期作業療法	11:30 院内見学
自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 作業療法士 牡鹿 実	12:00 昼 食
10:05 休 憩	12:50 急性期摂食嚥下療法介入のポイント
10:10 外傷患者の急性期医療管理	自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 認定言語聴覚士 富樫 結香
自治医科大学附属病院 整形外科 病院助教 中島 寛大	13:40 休 憩
11:30 休 憩	13:50 脳血管障害の急性期理学療法介入のポイント
11:40 急性期の栄養管理のポイント	自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 認定理学療法士 濱田 桂佑
自治医科大学附属病院 臨床栄養部 栄養管理室 室長 堀内 由布子	14:50 休 憩
12:30 昼 食	15:00 脳卒中の急性期治療
13:30 集中治療理学療法の理論と実際	自治医科大学附属病院 脳卒中センター 教授 田中 亮太
自治医科大学附属さいたま医療センター リハビリテーション部 認定理学療法士 安部 諒	16:20 閉 講 式
14:20 休 憩	16:35 (注) カリキュラム及び講師の一部が変更になる ことがありますので、予めご了承ください。
14:30 心疾患の急性期理学療法介入のポイント	
自治医科大学附属さいたま医療センター リハビリテーション部 室長 関根 一樹	
15:30 休 憩	
15:40 外傷患者の急性期理学療法介入のポイント	
(独) 労働者健康安全機構山口労災病院 中央リハビリテーション部 理学療法士 砥上 恵幸	
17:00 情報交換会	
18:20	

第 48 回 スタッフ育成・管理担当者研修会日程表

スタッフ育成のためのティーチングとコーチングの実際を学ぼう

テーマ：スタッフ育成のためのティーチングとコーチング

- ねらい：1. ティーチングとコーチングの実際を学び、やる気のある自立したスタッフの育成に向けて、効果的な関わりができる知識と能力を身につける。
2. 安全で質の高いサービスを実現するために、自立したスタッフによる多職種協働のチームワークを理解し、支援する知識と能力を身につける。

11 月 7 日 (金)	11 月 8 日 (土)
<p>9:15 受付</p> <p>9:45 開講式・オリエンテーション</p> <p>10:00</p> <p>スタッフを育てるリーダーシップ ～キャリアパスに即したティーチングと コーチングの使い分け～</p> <p>チームワークとリーダーシップ ～安全で質の高いサービスを 実現するチームワーク～</p> <p>東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹</p> <p>12:00 休憩（昼食）</p> <p>13:00</p> <p>東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹</p> <p>16:30</p> <p>16:45</p> <p>ビギナーへのティーチング ～スタッフのパフォーマンスにつながる 効果的な指示と助言の方法～</p> <p>東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹</p> <p>17:00 情報交換会</p> <p>18:20</p> <p>※およそ 90 分に 1 回、随時休憩</p>	<p>9:30</p> <p>ベテランへのコーチング ～スタッフのやる気と 質の高い医療・福祉サービスを 支持する方法～</p> <p>東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹</p> <p>12:00 休憩（昼食）</p> <p>13:00</p> <p>多職種協働によるチームワーク ～それぞれの専門性を活かして 互いに補い合う多職種協働の方法～</p> <p>東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹</p> <p>16:30 閉講式</p> <p>16:45</p> <p>※およそ 90 分に 1 回、随時休憩</p>

第1回 災害薬事研修会 日程表

災害時での薬剤師力の発揮！！

テーマ:災害に備える薬剤師の力～平時から有事への架け橋として～

ねらい:本研修会は、災害発生時における薬剤師の役割や対応力を深く理解し、実践に活かすことを目的としています。令和6年能登半島地震の対応事例や国際緊急援助隊での活動から得られた知見を共有するとともに、病院薬剤師が災害時に求められる役割について具体的に掘り下げます。また、平常時からの取り組みや医療チーム内での連携強化の重要性を学び、地域や職場における災害対応力の向上を目指します。さらに、グループディスカッションを通じて、他地域の参加者と意見交換を行い、多様な視点や新たな取り組みを共有する場を提供します。この研修を通じて、薬剤師一人ひとりが平時からの準備を進め、有事の際に迅速かつ的確な行動が取れるようになることを期待しています。

11月14日(金)	
8:30	受付
9:00	開講式・オリエンテーション
9:10	令和6年能登半島地震における薬剤師の 災害対応の実際 金沢大学附属病院 薬剤部 薬剤主任 / 感染制御部 副部長 中出 順也
9:55	休憩
10:05	災害時に求められる病院薬剤師の役割 国立療養所 栗生楽泉園 薬剤科 薬剤科長 百武 宏志
10:20	休憩
10:30	災害時に求められる薬局薬剤師の役割 株式会社ケイ・クリエイト 代表取締役社長 金田 崇文
11:00	休憩
11:10	国際緊急援助隊での薬剤師の役割 伊東市民病院 薬剤室 薬剤室長補佐 瀬戸 弘和
11:40	昼食・ワーキングランチ
12:40	災害時、薬剤師に期待すること ～医師の立場から～ 獨協医科大学 救急・集中治療医学講座 教授 和氣 晃司
13:10	休憩
13:20	
13:20	災害時に備えた平常時の取り組み 自治医科大学附属病院 薬剤部 薬剤師 藤村 昭太
13:50	休憩
14:00	グループワーク・ディスカッション 自治医科大学附属病院 薬剤部 副薬剤部長 中澤 寛仁 金沢大学附属病院 薬剤部 薬剤主任 中出 順也 国立療養所 栗生楽泉園 薬剤科 薬剤科長 百武 宏志 株式会社ケイ・クリエイト 代表取締役社長 金田 崇文 伊東市民病院 薬剤室 副薬剤室長 瀬戸 弘和 獨協医科大学 救急・集中治療医学講座 教授 和氣 晃司 自治医科大学附属病院 薬剤部 薬剤師 藤村 昭太 宇都宮記念病院 薬剤部 薬剤師 八木 啓太
17:00	閉講式
17:15	情報交換会
18:35	
注)カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので、予めご了承ください。	